

国際貿易論 2020 第7回 (6/25)

学生さんへ

- ・ ネット接続料金は大丈夫？
- ・ すっかり夏！



先週のお話

「生産量 1 の等産出量曲線」



話しに溝（みぞ。ギャップ？）が・・・<(_ _)>

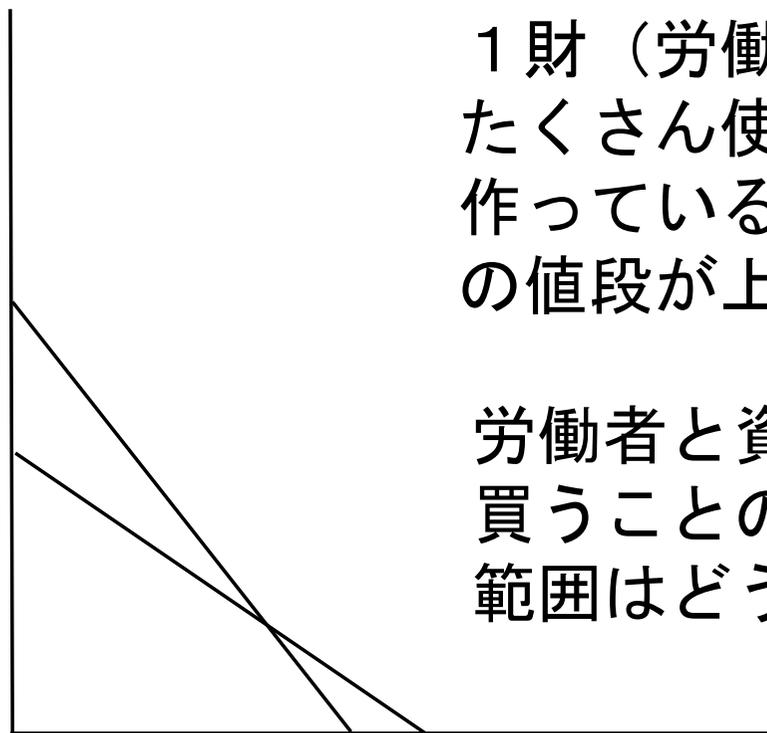


ストルパー・サミュエルソンの定理

今週のお話

まずは「ストルパー・サミュエルソンの定理」
の内容

2財（資本集約的な財）



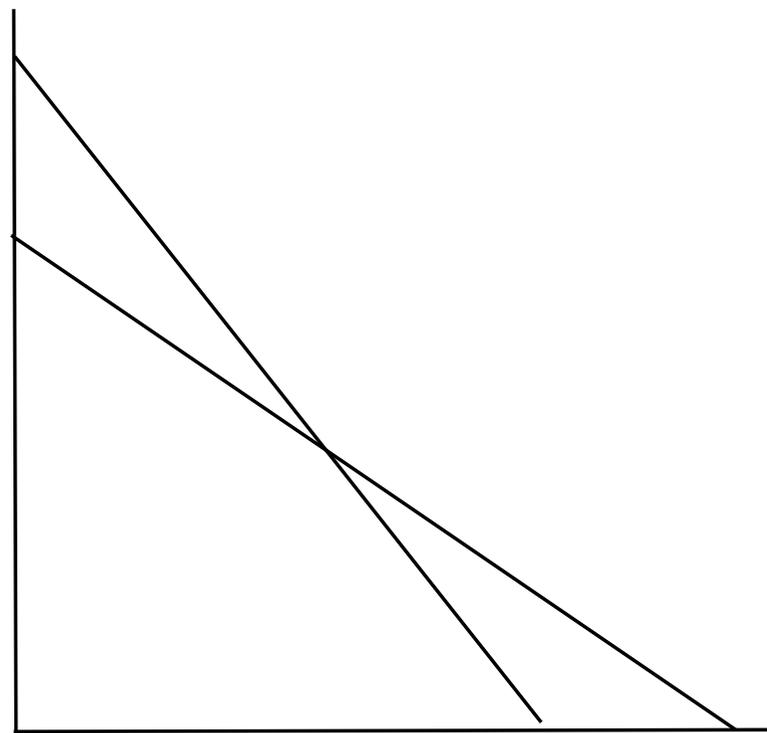
労働者

1財（労働を
たくさん使って
作っている財）
の値段が上がると

労働者と資本家の
買うことの出来る
範囲はどう変わる？

1財
(労働集約的
な財)

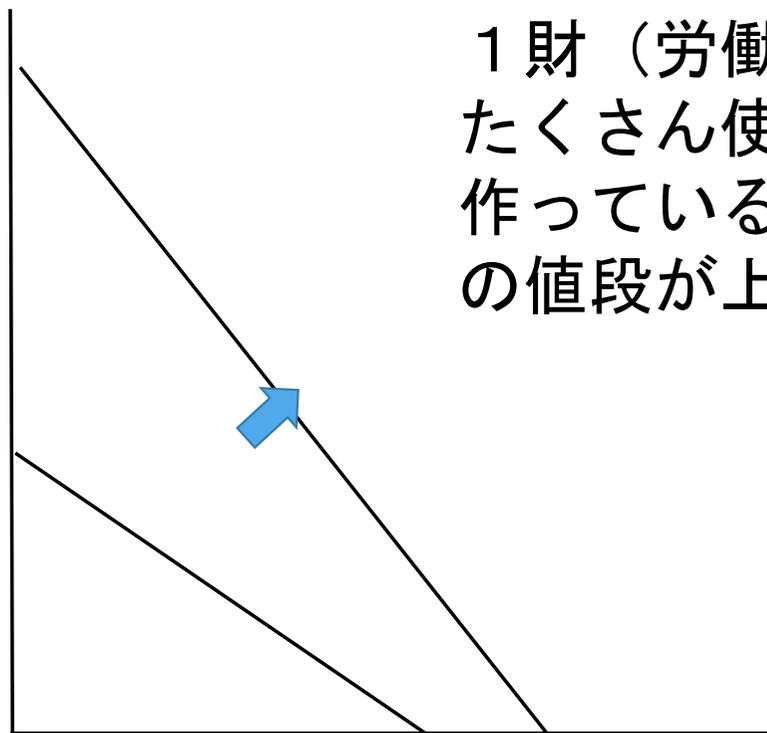
2財



資本家

1財

2財（資本集約的な財）

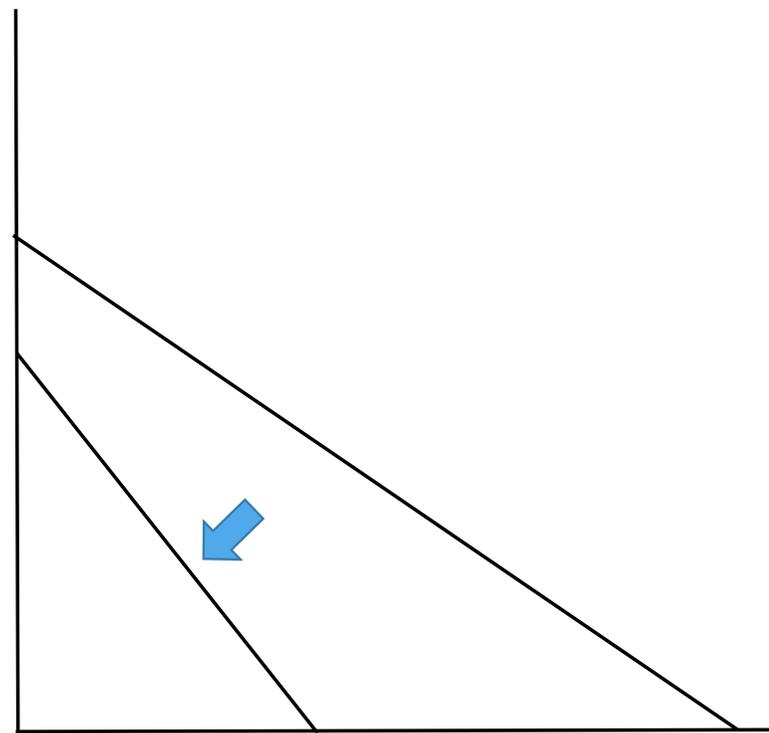


労働者

1財（労働を
たくさん使って
作っている財）
の値段が上がると

1財
(労働集約的
な財)

2財



資本家

1財

ストルパー・サミュエルソンの定理の意味（というか「立ち位置」）

「貿易の利益」という話を思い出してもらいたい。

鎖国していた国が「開国」をして貿易を始めたら、

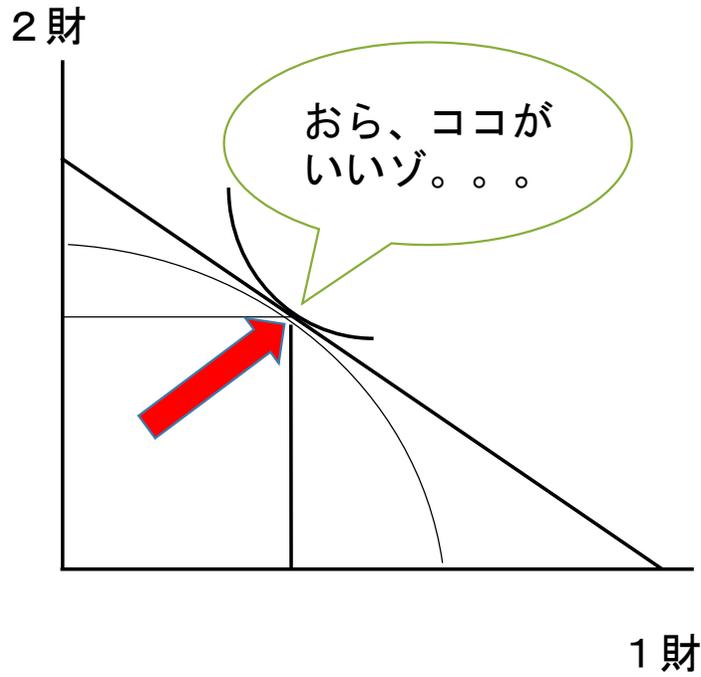
1) 財の価格が世界市場に飲み込まれて（鎖国時代から）変化する

「その結果、買える範囲がこう変わる」

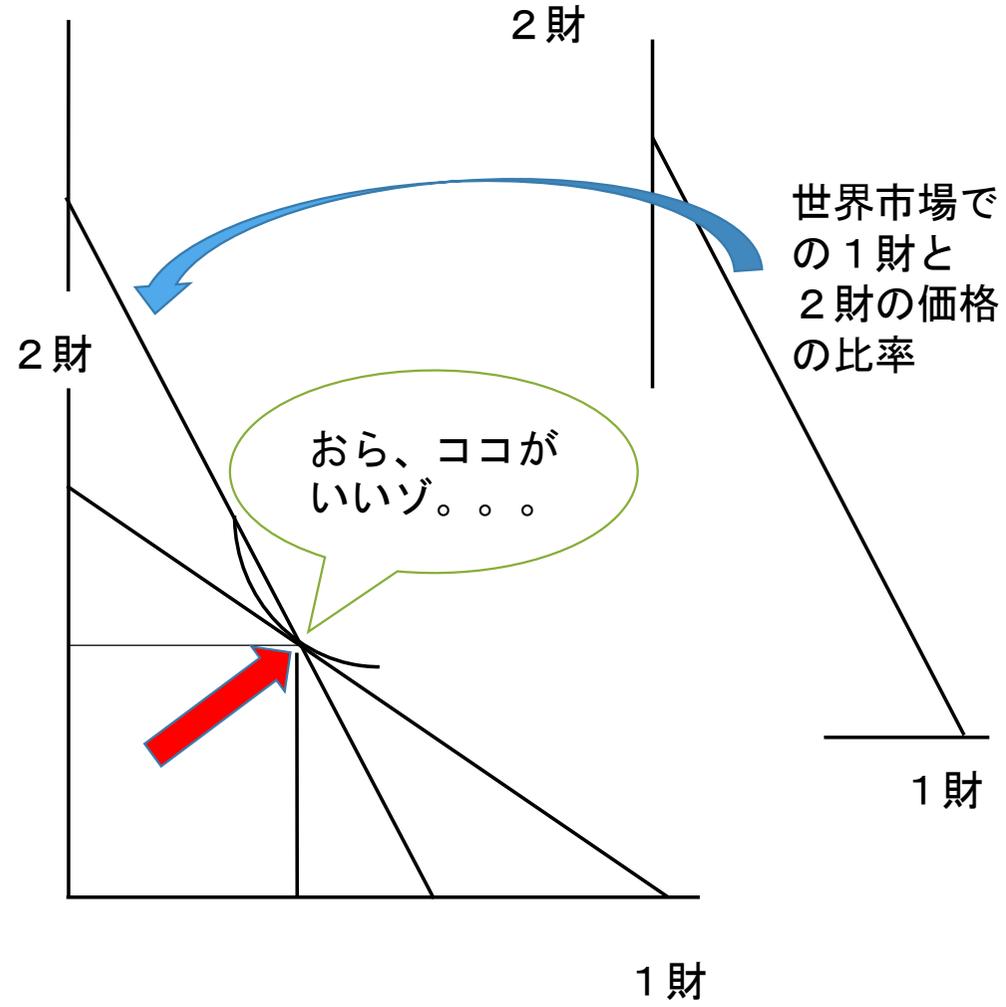
「さらにアダムスミスの原理で生産点も変化する。その結果、買える範囲はさらにこう変わる」

貿易の利益

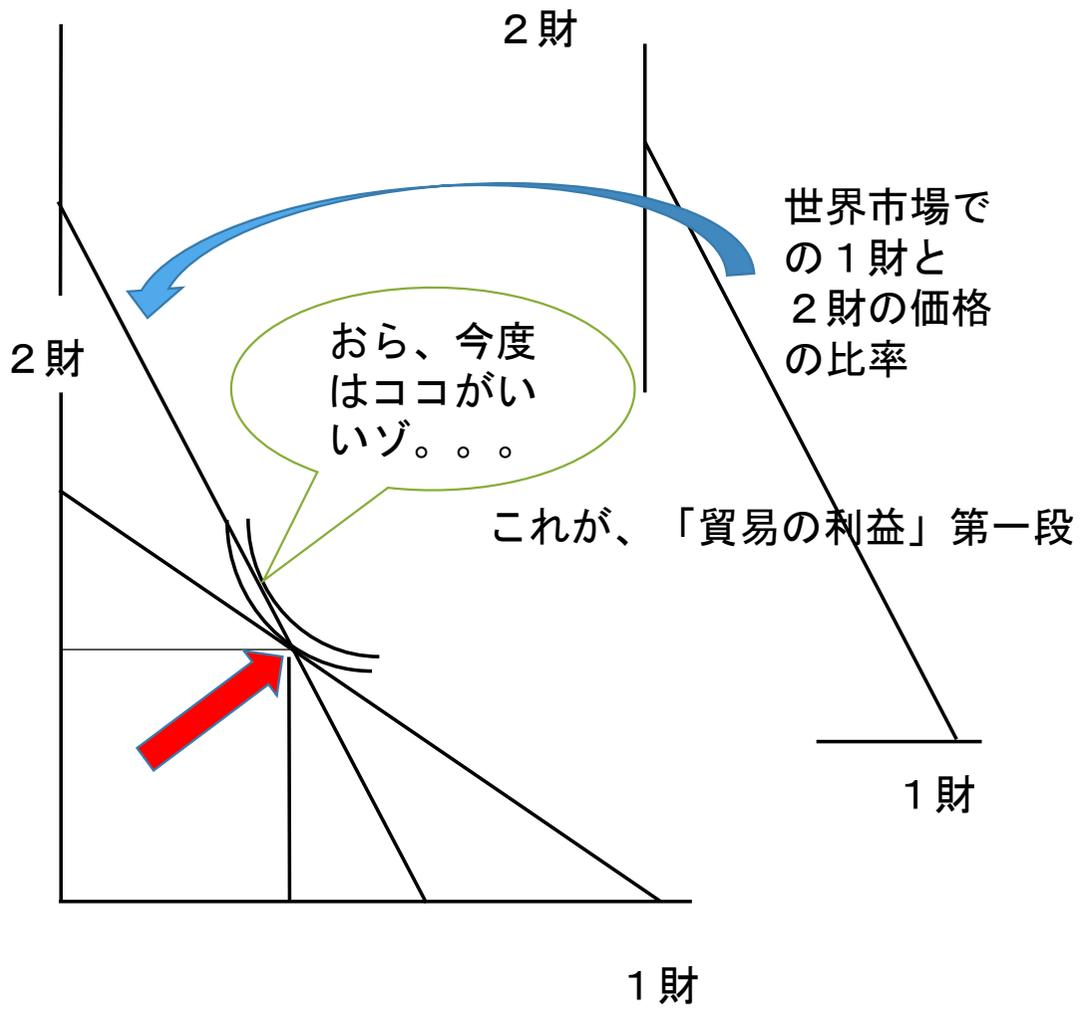
3つ並んでいた図のうち、左側にあった図のようになつたとしよう。



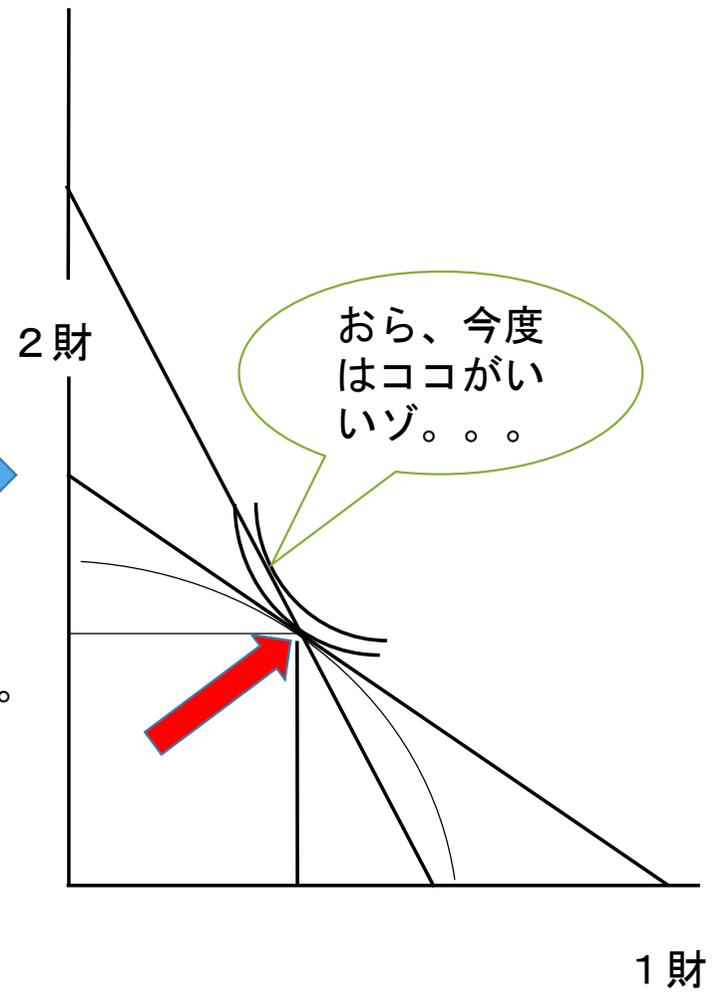
生産可能性曲線を消してみた



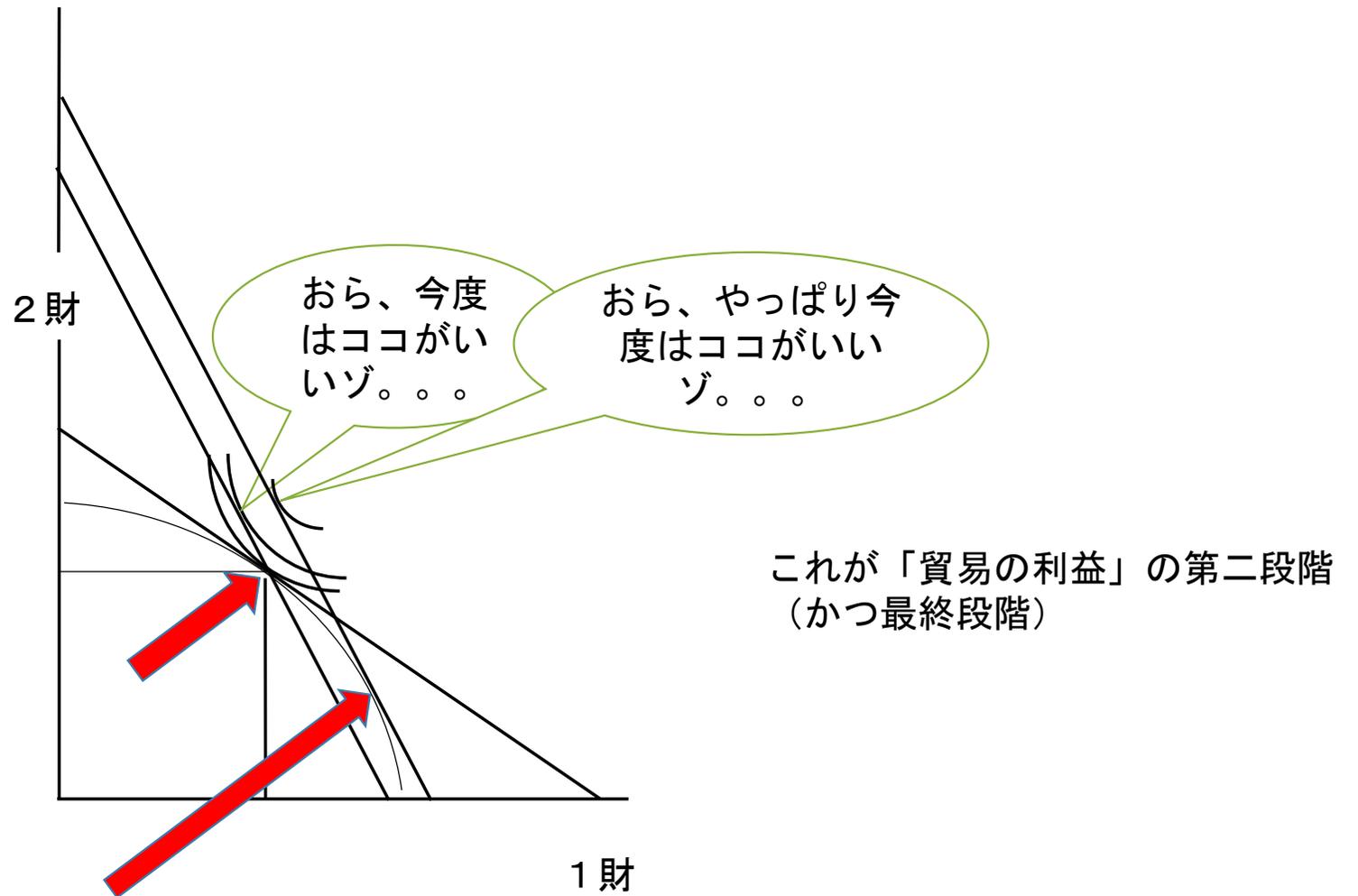
ここにペリーがやってきて貿易を迫ったとする。



生産可能性曲線をもう一回書き込んでみた。



ペリーに迫られて貿易を始めたために「世界市場」で売ったり買ったりできるようになった。



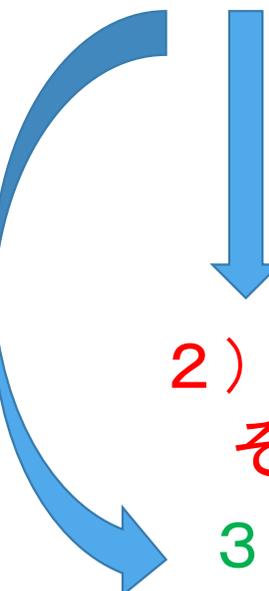
アダムスミスの原理で生産点がここに移る！

ストルパー・サミュエルソンの定理の意味（というか「立ち位置」）

「貿易の利益」という話を思い出してもらいたい。

鎖国していた国が「開国」をして貿易を始めたら、

1) 財の価格が世界市場に飲み込まれて（鎖国時代から）変化する



「その結果、買える範囲がこう変わる」

「さらにアダムスミスの原理で生産点も変化する。その結果、買える範囲はさらにこう変わる」

2) さらに、開国したら海外から労働者が出稼ぎに来始めるじゃん！
その影響は？ リプチンスキーさんの定理（というか「お話」）

3) おっと、出稼ぎ労働者が来るかどうかは分らない。その前にとりあえず国内の働いている人（労働者）や資産家（工場のオーナーさんたち）の状況はどうなるのかな？

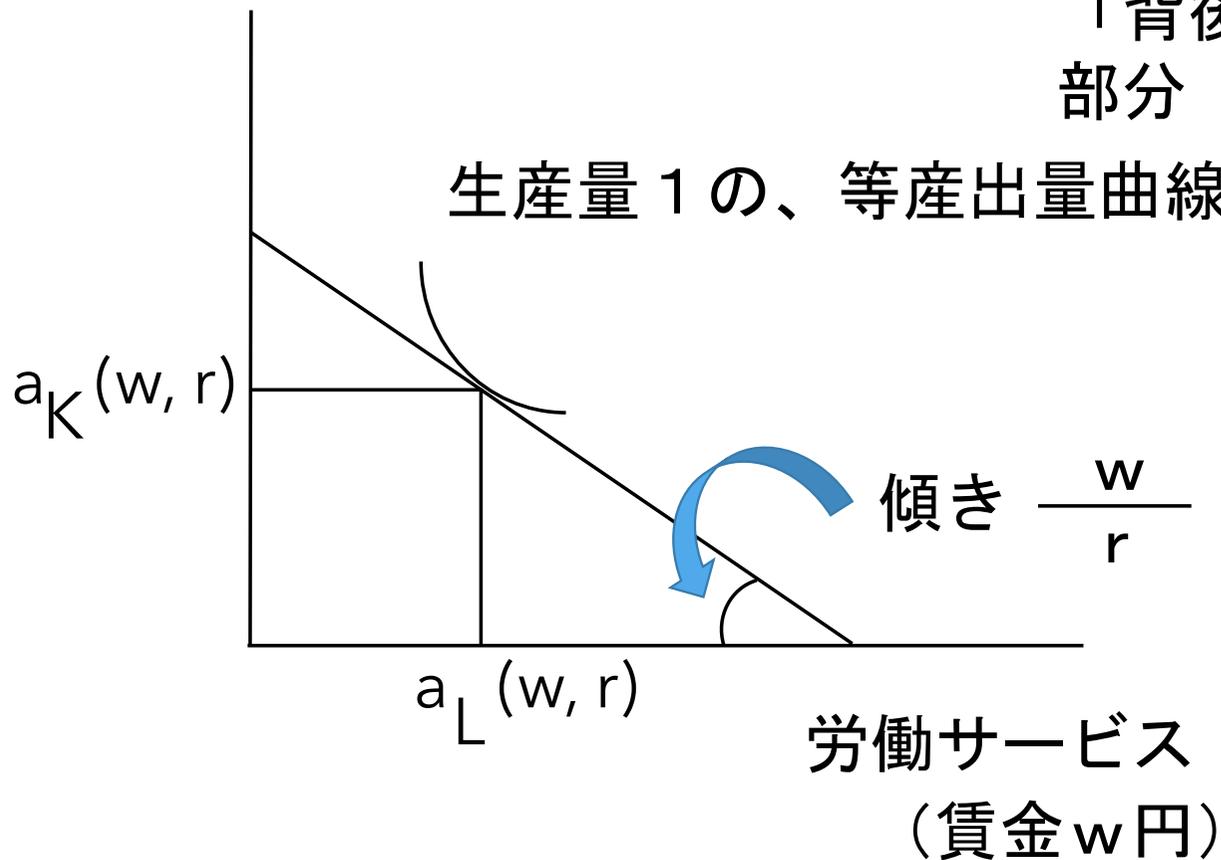
ストルパー・サミュエルソンの定理（というか「お話」）

で、先週の前半に一生懸命「お話」した「生産量 1 の等産出量曲線」の話しは・・・

資本サービス（利子率 r 円）

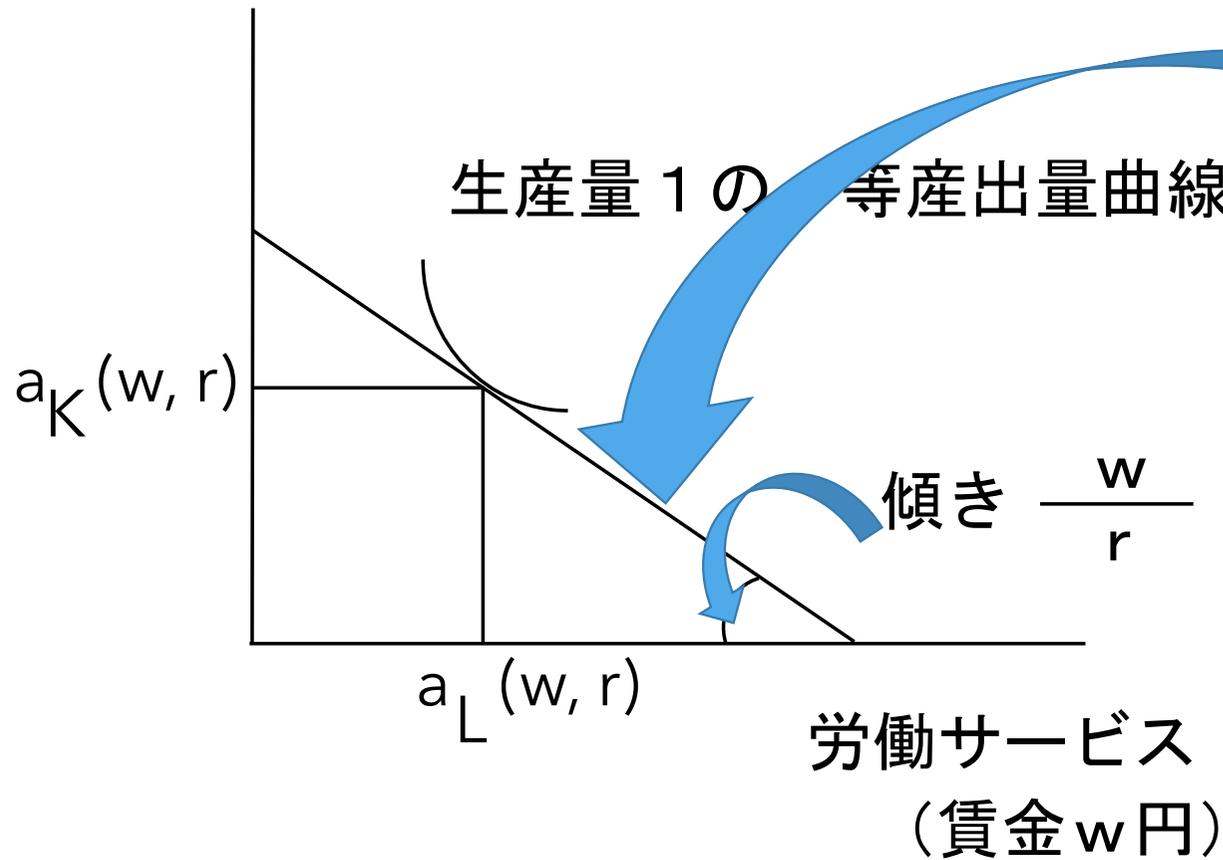
これはリプチンスキー定理や
ストルパーサミュエルソンの定理の
「背後にある、重要な話し」という
部分

生産量 1 の、等産出量曲線



このお話ですが . . .

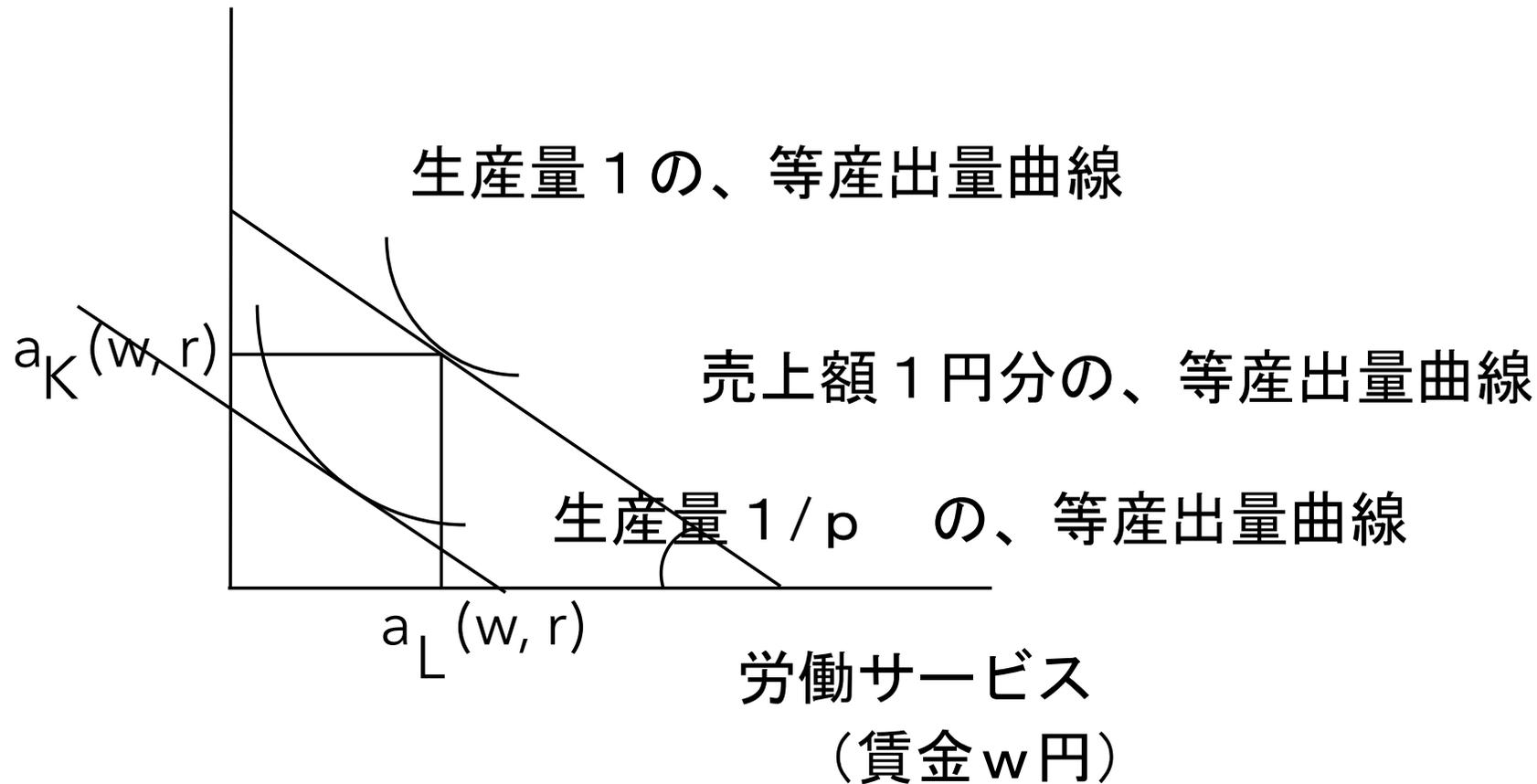
資本サービス (利子率 r 円)



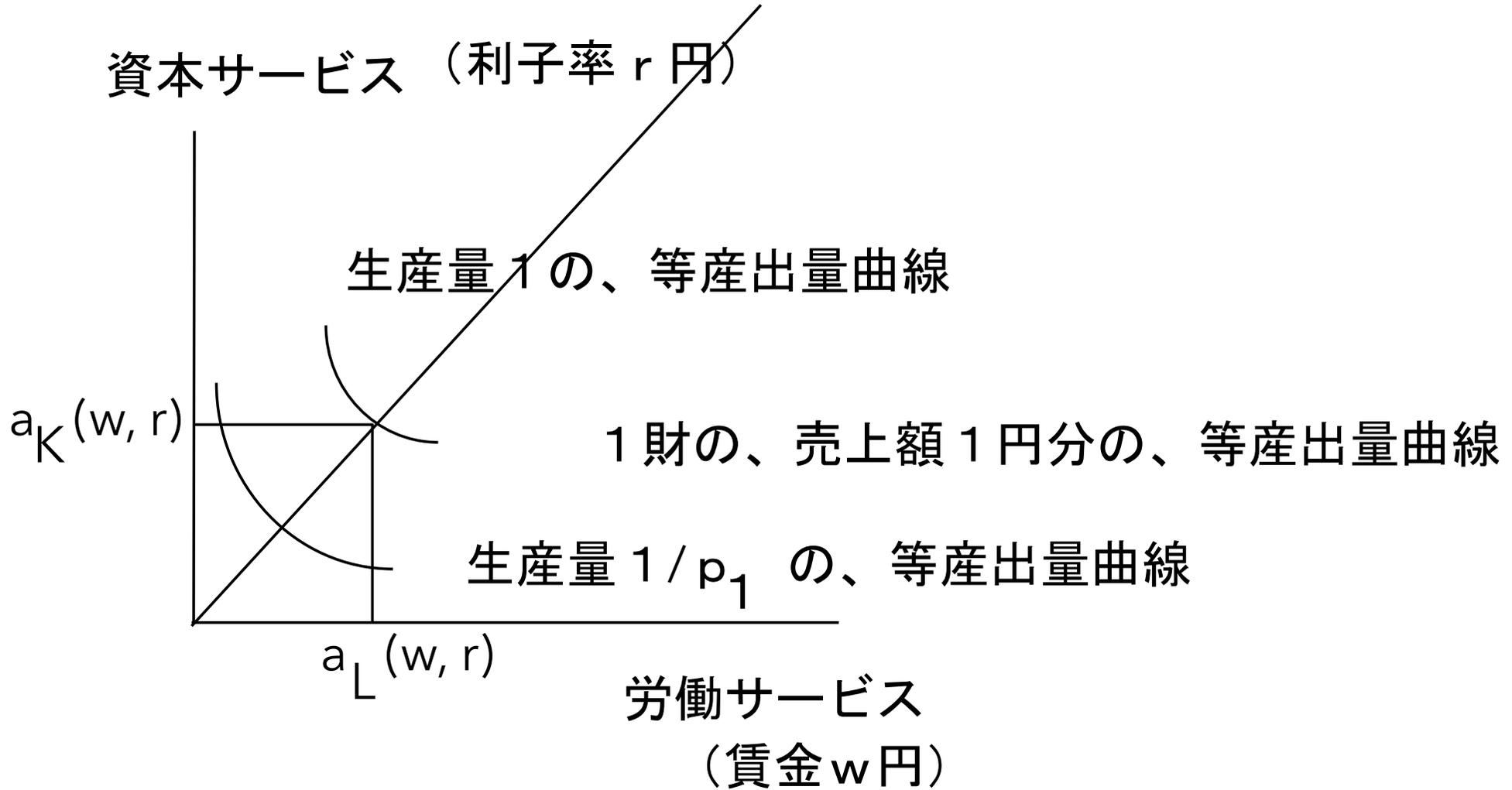
この線 (消費者の理論でいうと「買うことのできる目一杯のライン」の分だけ、「生産量 1 のために、コストがかかっちゃう」という事

このお話をもとに、ラーナーという人がとんでもないことを思いついた！

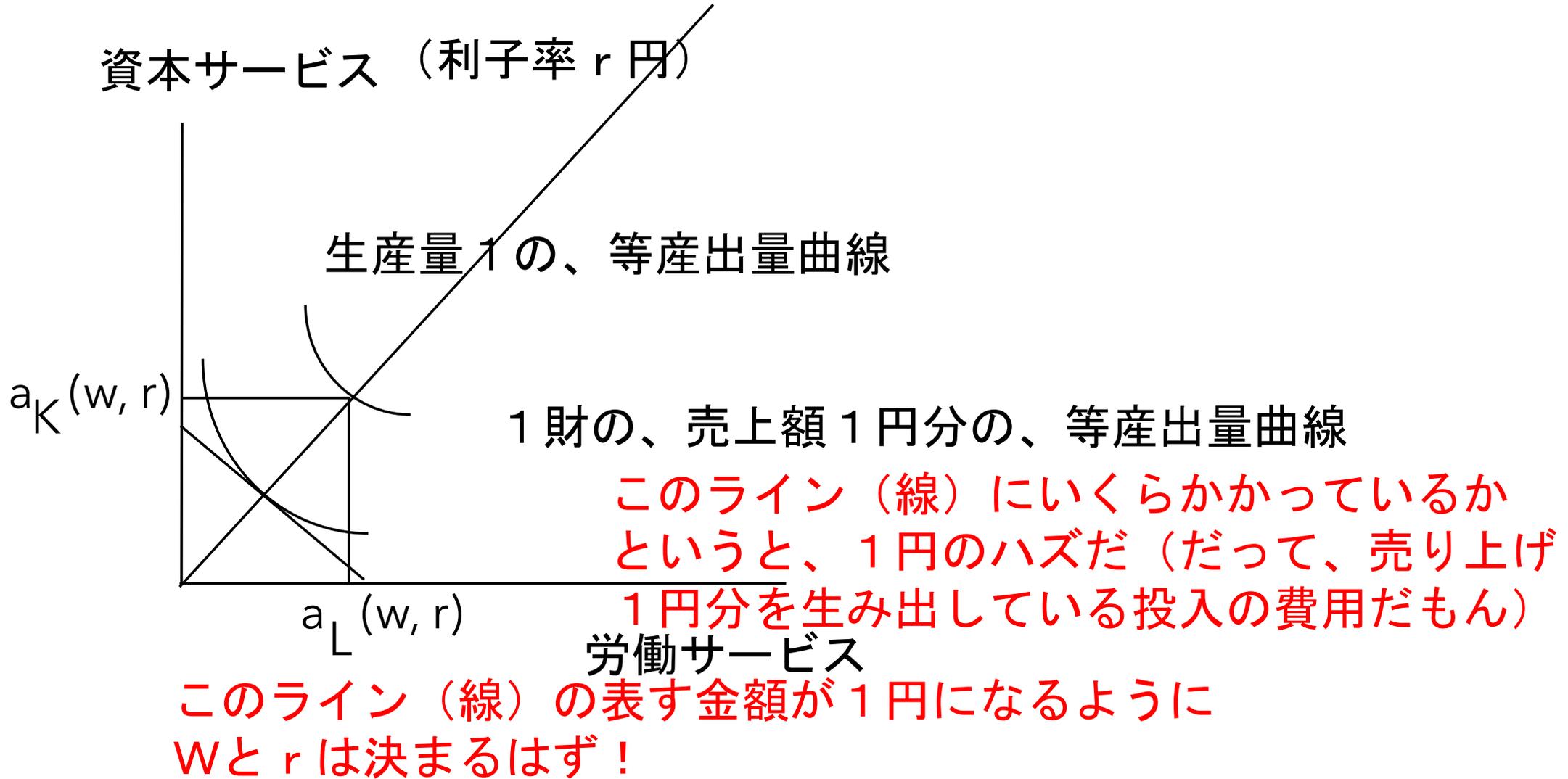
資本サービス（利子率 r 円）



このお話をもとに、ラーナーという人がとんでもないことを思いついた！

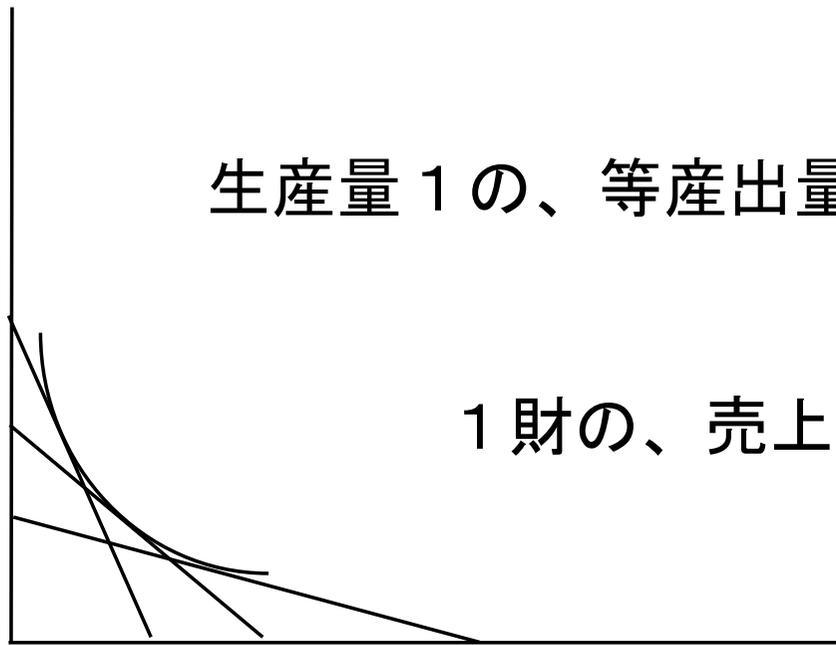


このお話をもとに、ラーナーという人がとんでもないことを思いついた！



そうなってくると、 w と r はいろいろ有り得る

資本サービス（利子率 r 円）



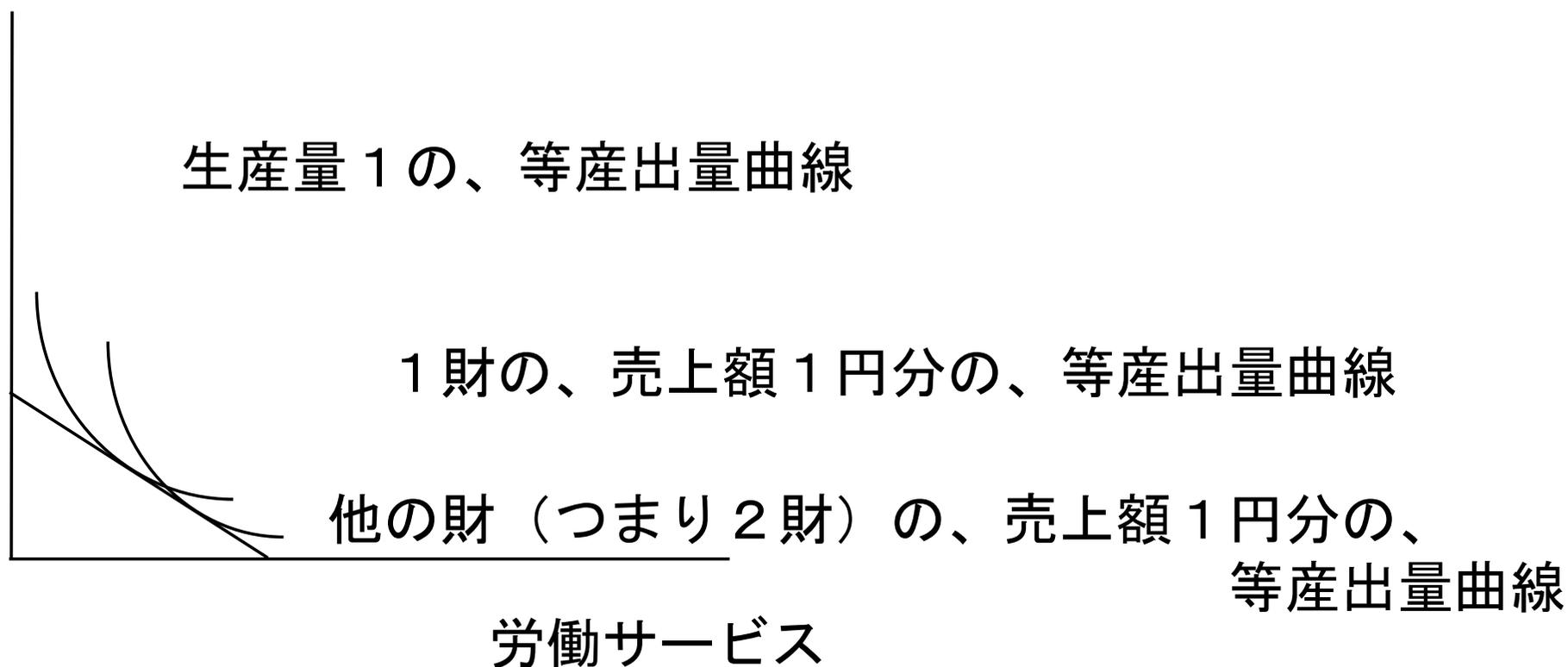
生産量 1 の、等産出量曲線

1 財の、売上額 1 円分の、等産出量曲線

労働サービス

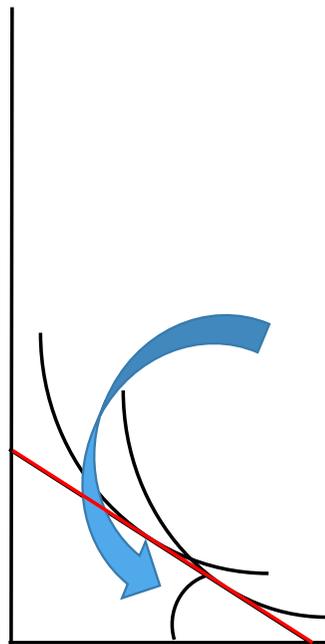
2つある産業どちらにとっても「1円分の生産にかかる費用が1という値になるように」 w と r の値は決まる（一つに定まってくる）。

資本サービス（利子率 r 円）



こんなふうに w と r の値は決まるんだ（というのがラーナーの発見）

資本



傾き $\frac{w}{r}$

1 財の、売上額 1 円分の、等産出量曲線

2 財の、売上額 1 円分の等産出量曲線

労働

このライン（線）の表す金額が 1 円になるように w と r は決まるはず！

2つある産業どちらにとっても「1円分の生産にかかる費用が1という値になるように」 w と r の値は決まる（一つに定まってくる）。

バイトが余る（ので時給が下がる）ということはあるか？

「時給が下がるのではなく、あまりそうなバイトは雇用して生産をして、世界市場ではけるんだって。それが開国し、貿易をする、ということの意味だって。」

バイトが足りないので時給が上がるというメカニズムはもはや効かない。

バイトが不足して、おかげでバイト代があがるかと期待してもらっても、不足分（需要に対する不足分）は海外から同じ値段で同じモノが入ってきちゃうので「バイトの条件」はかわらない。なので、バイトの時給も変わらない。